

1 新型コロナウイルス感染症対策

(4) 感染の収束に向けたワクチン接種の促進

国への提案事項

1 新型コロナウイルスワクチンの接種体制等について

- ワクチンの有効性等を踏まえ、国において感染の収束に向けて達成すべき接種率等、今後の新型コロナウイルス感染症対策におけるワクチン接種の取組の方向性について早期に示すとともに、必要なワクチンについて、接種に滞りが生じないように、迅速かつ確実に供給すること。
- 地方の財政状況が極めて厳しい中で、3回目の接種の実施等により生じる接種体制の確保・維持に係る費用について、引き続き必要な財政措置を講じること。

2 ワクチン接種の促進に係る広報戦略について

- 接種率の低い若年層に対しても正しい情報が確実に伝わるよう、国においても、接種の意義や副反応の情報を分かりやすく継続して周知すること。

【提案先省庁：厚生労働省】

1 新型コロナウイルス感染症対策 (4) 感染の収束に向けたワクチン接種の促進

現状／広島県の取組

【新型コロナウイルスワクチンの接種体制等】

- 医師会及び市町と連携し、住所地内外に関わらず接種が可能となる広域接種を8月から開始し、接種希望者の利便性の向上を図っている。
- 市町の接種会場に加えて、大規模接種会場を県内4か所に設置するとともに、会場において、若年層及び妊婦の方などの優先接種対象者や、休日を中心とした接種枠を設定するなど接種機会を確保している。

【広報戦略】

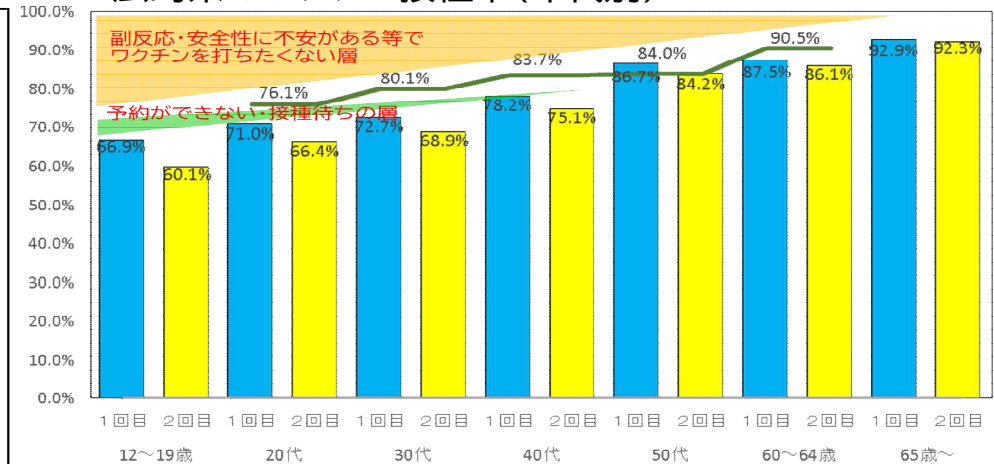
- ワクチンの副反応や安全性などの情報を、ツイッターやフェイスブックなど、県のSNSやHPなどで発信している。
- 対象者の特性に合わせたWeb広告やインセンティブの付与など、「不安解消」、「きっかけづくり」、「気運醸成」の3つ柱で接種率向上につなげるキャンペーンを展開している。

広島県ワクチン接種促進キャンペーン



コロナに負けない！
広島HAPPY宣言
キャンペーン

■ 広島県のワクチン接種率(年代別)



※1 接種率はVRS入力情報(令和3年11月1日現在)により作成

※2 12～19歳の人口は、VRS入力情報より算出((10～14歳の人口×3/5)+15～19歳の人口)

課題

【新型コロナウイルスワクチンの接種体制等】

- ワクチンの有効性等を踏まえた、今後の新型コロナウイルス感染症対策におけるワクチン接種の取組の方向性について明らかになっていない。
- 3回目の接種においては、引き続きワクチン接種に必要な接種体制を確保・維持することが必要となる。

【広報戦略】

- 若年層の接種率が低く、接種をしたくない理由として、副反応やワクチンの安全性への不安などがあげられる。若年層が情報を収集するSNS等では、ワクチンに関するデマ情報が多数発信されており、それらの情報を打ち消す必要がある。